

4. 火災の場合

—まず知らせる(火災報知機等)—

【初期消火の対応】

- ・身の安全を確保した上で備え付けの消火器を用いて、消火を試みる。
- ・消火器が近くにない場合は、水に濡らしたタオルや衣服などをかけ、空気を遮断して消火する。

【初期消火できずに避難】

- ・初期消火が失敗し、天井まで火が達したときは、すぐに避難する。その際はあわてて部屋を飛び出さず、冷静に行動する。

【怖いのは煙】

- ・濡れたハンカチ（無い場合は衣類等）を口にあて、煙を吸い込まないよう姿勢を低くして避難する。
- ・階段では手すりを持つ、もしくは手を壁にあて、慎重に降りる（エレベーターは絶対に使用しないこと）。

【トラッキング火災に注意】

- ・コンセントにプラグを長時間差し込んでいると、コンセントとプラグの間にたまったホコリが湿気を帯び、通電している電気によって発火することがあります。
- ・コンセントにホコリがたまらないように定期的に掃除をしたり、使わないコンセントに

カバーをするなど、日頃からトラッキング火災の防止に努めましょう。